

①

題名「人と人をつなぐコミュニケーション」

松伏町立松伏第二小学校
氏名(福嶋) 結奈

みんなが安心して暮らせる町にするためには、あいさつをして、人との関わりを深めることが大切だと思います。あいさつをするこ
とで相手からの印象も大きく変わり、自分も相手も笑顔になります。うれしい気持ちになります。そして、あいさつは、初めて会った人に「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と言えば親しみの言葉になり、食事の時に「いただきます」「ごちそうさま」と言えば感謝の言葉にもなります。このよう

20 × 10

に、あいさつはだれでもかんとにできるというメリツトがあります。もし、日ごろから近所の人との関わりがなく、となりに住む人や地域の人がどんな生活しているか分からなければ、生活していく上でこまる事がでてくると思います。私も小学校の登下校や遊びに行く時など、不安とこわさを感じながら行くことになると思うと、とてもしんどくなります。今、日本では近所に住む人との関わりがむかしにくらべてへってきてい

20 × 10

福島紗奈

ることをお母さんから教えてもらいました。
 私は、それを聞いてとてもびっくりしました。
 私がふだん当たり前のように近所の人に声を
 かけてもらっていることがすごくありがた
 ことなんだなと感じました。そして、どうし
 てまわりの人から声をかけてもらえるのかを
 考えてみました。私の家族の知り合いもいま
 すが、それだけではなく、私が日ごろ出会
 た時にあいさつをしているからかなと思
 いました。私は、小さいころはずかしくて自

分からあいさつをするのが苦手でした。ど
 タイミングであいさつすればよいか分からな
 か。たし、相手と目が合わないようにしたり、
 下を向いて気づかないふりをしたり、こ
 りました。でも、学校に登下校する時など、
 まわりの人からあいさつしてもらって、
 もううれしい気持ちになれたので、自分もあ
 さつをしようと思いがんばるようになりました。
 いろんな人でも最初は出会った時にあいさ
 から始まると思います。家族はもちろん、友

達や地域の人と同じだと思います。だから、
私は、これからあいさつを自分から進んで
おこない、がんばってまわりの人達とのつな
がりを大切にしようと思います。そうするこ
とで地域の人達や友達とのつながりができ、
安心して生活できることにもつながると思
います。「明るいいさつが大事」というのは、
まわりの人に安心感や信頼感をあたえます。
そのことが協調性の向上や人間関係をさ
げることにもつながり、物事がスムーズに

進むと思います。あいさつで、学校・家族・
地域のつながりを作ることができると思
います。元気なあいさつは、活気がある明
るい町にしてくれると思うので、これか
ら私も私は、人の目を見て明るいいさつ
を心がけていこうと思います。
あいさつは、気づき、見守り、支え合
いの始まりでもあります。人と人をつな
ぐコミュニケーションの基本だと思
うのです。